

後片付けは自分の心を映す鏡！

学校給食センター

食器の扱い方や給食の後片付けの仕方は、食べ物や作ってくれた調理員さん、準備や片付けをしてくれる給食当番さんへの敬意や感謝を示すものです。そこに、その人の思いやりの気持ちが表れます。次に作業する人のことを考えて、決められた方法で行いましょう。



○牛乳や飲むヨーグルトは開いて残っていないか確認しよう

少し残っていると、運ぶ途中にこぼれて、当番さんの服が汚れたり、廊下が汚れたりします。牛乳アレルギーの人にとっては、大変危険です。また、これから暑くなると、牛乳パックのごみの衛生や臭いも気になります。意識して、飲み切りましょう。



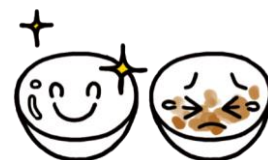
○食べ残した給食は入っていた食缶に返しましょう

違う食缶に食べ残しがぐちゃぐちゃに混ざって入っているのを見ると、調理員さんはとても悲しい気持ちになります。また、給食センターではおかずごとの残量をはかっているのです。正確に計量するためにも、それぞれの食缶に返しましょう。



○食器やお盆に、ごみがついたままになっていないか確認しよう

牛乳のストローやストローの袋、飲むヨーグルトのふた、パンの袋などのごみが食器やお盆に挟まっていることがあります。自動洗浄の機械にごみが絡まって止まってしまったりつぶれたりします。



○スプーンやはしは、向きをそろえて返しましょう

スプーンやはしの向きが反対になっていると、調理員さんが手作業で入れ直さなければなりません。1人1人が気を付けるといいですね。

